



～ 社訓・誠意 ～ 社長室だより



2018年4月末号

ついに5月＊誕生日＝還暦を20日に迎える事になってしまう！！

そもそも還暦とは？昔は数え年61歳だったが、戦後は生まれた年は0歳とカウントするようになり、現在は満年齢で全てが処理されるので60歳を還暦とする。十千十二干支による生まれ年の干支に戻る年で「ほんけがえり」とも言われる。昔は40歳過ぎたら長寿として10年刻みごとに行われた算賀のお祝いを引き継いだ行事である。生まれ年に戻る事から誕生（生まれかわる）祝いとして「赤いちゃんちゃんこ」「赤い帽子」を身に着けてお祝いをした。又、現役からの引退、隠居の年ともされていたが、自分の事を棚に上げるわけではないが元気な伯父さん叔母さんは多いし、定年延長もされ、年金支給ものばされる方向で世間は動いていて、現実問題還暦を迎えても日本の政治、社会を現役で引張っている人達は多くいる。とりわけ我が業界は60歳で未だに「青年部」に所属。ひよっこ扱いだ。ドライバーの皆さんでは私より先輩の方の方が多い。頭が下がる。我が父が皆さまのおかげで黄綬褒章を頂き祝いの席での挨拶で「人間は三度生まれかわると言います。私は三度生まれ代わるともこの職（運送業）に付き、この嫁を嫁ります」と挨拶しました。それを横で聞き思わず「じゃあ、私三度この父と母から生まれるのか～！？」と苦笑した事を今でもはっきり覚えてる。3度生まれ変わっても従事したくなる業界で有ると本当に良いと思います。インターネット、自動化、クローンなど技術革新は日進月歩ですが商品、原料、を生産者からエンドユーザーまで運ぶ過程に於いて全く人が介入しなくなる事は有る意味寂しいですね。手から手をつなぐから商品と一緒に気持ちも手渡しされる。そんな人間にしか湧き上らない気持ちが込められる、本当はとっても素敵な仕事が「物流業」だから。私たちは大雪の日も台風の雨風にも怯む事なく、又、少し具合が悪くても皆さんは仕事に従事して下さい。私はその事をもっと若い人にも伝え、世間にも認知してもらえるように活動し、私も三度この職に就くと言えるように「ほんけがえり」したいです。「地に足を着けて」望みたい。

「地に足を着けて」とは良く出来た言葉で、落ち着き、しっかりと。と言う意味でも有りますが、足の親指とかかたとにしっかり力を入れて内股に体重が懸る様に立つと膝、腰、背骨、首の歪み無く均等にまっすぐ正しい体系になるので安定もするし、膝、腰、肩こりなどの痛みの原因（体の歪み）改善に効果が有るそうです。そうやって意識して自分の姿勢を整え胸の前で手を合わせ合掌すると心も整います是非お試しあれ！5月病にならない為にも新緑の大地を踏みしめよう！

～5月の誕生日～

金山秀吾（5月2日） 森英二（5月15日） 加川一江（5月20日）

